

No.1912

4月27日例会 プログラム 「筆界特定制度について」 山本 勇一君

5月11日例会 プログラム 「H18 交通死亡事故の特徴と運転免許制度」 高橋 征司君

4月27日のメニュー ・ローストポークソテー&バターライス ・スープ ・菜の花サラダ ・卵のデザート ・コーヒー

前回(4月20日)例会記録

出席報告	会員総数	38名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	24名	欠席者数	12名	出席率	66.67%	前回補正率	72.22%
	前回補正者	三宅(孝)君								
	欠席者	藤原君 花岡君 林君 東川君 井上君 松王君 三宅(孝)君 宮本君 仲田君 中山君 大久保君 山田(次)君								

来訪者 妹尾 和明様(株)中原三法堂石材部部长)

会長挨拶

こんにちは。例会出席ありがとうございます。お客様の紹介をいたします。(株)中原三法堂石材部長 妹尾 和明様です。ようこそいらっしゃいました。昨日、岡山県技術交流プラザという異業種交流の会に出席してきました。技術系の異業種交流の会なので私が入っていくのはちょっと変とは思ったのですが、第1回例会に参加しました。会員数28社のうちだいたい毎回22社参加ということで昨年の年間出席率は78%とのことでした。またロータリーのメンバーも約1/3ぐらいいました。会員の方も岡山全県下から参加されていて、会員の話も参考になり会合の後の懇親会がけっこう楽しく、第2回の例会を楽しみにしています。以上、会長挨拶と致します。なお、本日の食事は米山ランチとなっています。

会長報告

- ・新宮ガバナー事務所より「能登半島地震災害義捐金」の依頼が届いております。募金箱を廻しますのでご協力よろしくお願いたします。

幹事報告

- ・玉野市教育委員会より中学生職場体験活動への協力依頼が届いております。
- ・玉野青年会議所より2007年度広報誌「エルスール」が届いております。
- ・JICA(ジャイカ)国際協力機構中国国際センターより「JICA中国ニュース」が届いております。
- ・5月4日(金)(みどりの日)の例会は休会です。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧いたします。

委員会報告

- ・米山記念奨学会委員会(福森委員長):本日の食事は米山ランチです。レストランにもご協力いただきました。
- ・玉野RC40周年記念事業実行委員会(藤田委員長):本日例会後、実行委員会を開催いたします。各部長出席願います。

スマイル・ボックス

- ・島田君 - 妹尾和明様、ようこそいらっしゃいました。スピーチよろしくお願いします。小野田先生すみません。
- ・宮原君 - 駅東創庫をオープンしました。よろしくお願いいたします。
- ・岸本君 - 駅東創庫がOPENしました。OPEN時は藤田さんありがとうございました。
- ・藤田君 - 宮原さん、岸本さん、「駅東創庫」開所おめでとうございます。
- ・富永君 - 宮原さん、駅東創庫スバラシイ発想ですね。玉野市の芸術発展に寄与するでしょう。小野田先生、昨日はお世話になりました。
- ・福森君 - 先日、中津脩さんと中朝国境の町、丹東に行きました。その旅行中、大連空港では濃霧のため着陸に4回失敗して5回目で何とか無事着陸に成功しました。その間30分、中津さんと私はメモを出して手紙を書き始めるほどの恐怖感でした。また、北朝鮮の国境に行ったときにはガイドさんより写真はダメと注意されているにもかかわらず中津さんがビデオを写して、それが北朝鮮の兵隊に見つかり小銃で威嚇され命からがら帰りました。帰国して私は翌日胃が痛み松尾先生のお世話になり、70歳の中津さんは今日も元気……。例会を休んで遊びに行くものではないですね、林さん……。

例会欠席、米山ランチ協力ありがとうございます、松尾先生お世話になりました。延命その他で・・・。

- ・大久保君 - 結婚記念月&欠席分。
- ・小野君 - 欠席。

プログラム 「お墓について」 (株)中原三法堂石材部部长 妹尾 和明様



1. ご先祖様のお祀りは、人間だけの行為である。
ご先祖様の人数（両親の両親、そのまた両親とさかのぼって）
10代さかのぼると 1,024人の人数となる。
20代 " 1,048,576人（約105万人）
30代 " 1,073,741,824人（約10億7000万人）
自分が生まれてくる確率は、気が遠くなる程の少率であり、自分がありがたく生かされていることに神秘的な思いがする。
2. 古い遺跡の発掘現場では、集落の入り口の広い道路の両側に、死者を向かい合わせでズラリと並べてお祀りしている所も見られる。（大昔より亡くなった方を大切にお祀りしていた。）
3. お墓の歴史
比較的浅く300～400年前からである。昔は土葬であったが、火葬が主体になるにつれ墓が増えてきた。
古いお墓は、自然石や屋根付のほこらであった。
今風の和墓は、それより後で比較的新しい。
4. 石の種類
以前は近くで産出された石を用いた。（庵治石、青木石、大島石等地元の石、磨くと光沢が出て長持ちする）
現在は日本全国の石、世界中の石が入手可能である。
5. 石の加工
昔ながらの手加工が、今では機械加工が進んでいる。四面を一度に自動研磨、仕上がりがきれい。
日本国内より海外での加工が増えてきている。
6. お墓の考え方
宗旨、宗派に基づいたお墓
（各宗旨のお寺様や神主様とよく相談していただく。）
墓地の広さに合った大きさやデザイン、また本家・分家及び隣接しているお墓などを参考にする。
大切に長くお祀りして頂けるように、十分な相談と正しいお祀りの仕方による。
お墓参りのお供え物は、極力持ち帰って、ご先祖様と同じ物を頂く気持ちで。